平成 19・20 年度　西東京市教育委員会研究指定校

ＩＣＴを活用した楽しい学習活動

平成１９年度研究紀要

本研究に携わった教員

校長 小此木始　　副校長 仙臺耕一

儘田信子　佐川美恵子　小林勝　齊藤奈津子　高見知子　浅見豪　宮原伸

石原純子　秋葉あい　矢沢建治　木口昭郎　山口智之　田中道恵　猪股知恵子

古田慎二　青山百合子　大澤明子　白濱恭子　佐藤有里子　永谷研一　塩﨑永久

ごあいさつ

本年度より２年間、西東京市教育委員会の研究指定校として「ＩＣＴを活用した楽しい学習活動」をテーマに研究を進めてまいります。「ＩＣＴ」とはInformation and Communication(s) Technologyの略称で「情報通信技術」と訳されます。

西東京市教育計画『教育プラン２１』の中でも述べられているように、ＩＣＴ活用の能力を身に付けることは、これからの時代を生きる子どもたちには不可欠のことだと考えます。

本校では、ＩＣＴを活用して、豊かな学習活動を経験させ、児童の学習意欲を高めることを研究の視点としております。各教科等の学習の中で、児童にコンピュータや情報ネットワーク等の情報手段に慣れ親しませ、適切に活用する活動を充実させたいと思います。また、情報の発信や受信の基本的なルールも身に付けさせたいと思います。平成１９年度、２０年度と２年間にわたる研究になりますので、堅実にじっくり取り組んでまいりたいと考えます。

校長　小此木　始

1年目をふりかえって

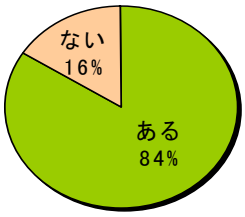
本校では、指定校研究１年目に於いて、「ＩＣＴを活用できる学校」作りを目指し、「使える人が使うＩＣＴ」ではなく、「誰もが使えるＩＣＴ」になるようにと研究を推進してきました。具体的に「ＩＣＴ活用とは」と考える中で、活用の仕方を大きく二つに分けました。一つは、「児童が活用する」場面、もう一つは「指導者が活用する」場面です。どちらの場面でも、活用の方法が様々に考えられます。いずれも、ＩＣＴを効果的に使うことで、子ども達の学習に対する関心・意欲は高まり、学習の理解を深めることができ、「楽しい学習活動」につながると考えました。分科会ごとの４回の研究授業では、これらの違ったスタイルの授業を提案できるようにしました。この授業実践を通して、低学年児童は、コンピュータの操作を覚え、その楽しさを味わうことができました。中学年児童は、操作に慣れてきて、デジタルカメラの扱いや写真の貼り付けなどの活用ができるようになりました。高学年児童は、学習内容によって違う活用の仕方を身に付け、更に自分で工夫しようとする意欲が見られました。また、何より本校教員のＩＣＴ活用に対する意識が高まりました。コンピュータは道具です。教員自身が道具の扱いに慣れること、そして、スキルを身に付けることの必要性を痛感しました。今後の課題は、更なる指導力の向上を目指したいと思います。また、子ども達は、学校でも家庭でもコンピュータに接する環境にありながら、しっかりとした「情報モラル」を身に付ける機会が十分であるとは言えません。情報社会での責任ある行動や、相手のことを考えた情報のやりとり、情報の安全性についての判断力、活用力など、身に付けなければならないモラルの指導は、来年度の研究の課題になると考えています。

研究主任　秋葉あい

研究構想図

パソコンの家庭への浸透	西東京市教育計画	高度情報化社会進展

本校高学年PC所有率



コンピュータ環境の整備

ICT(情報通信技術)

ＩＣＴを活用できる学校

研究主題　「ＩＣＴを活用した楽しい学習活動」

研究テーマ・授業実践

低学年

２年生　生活科「生きものと友だち」

低学年児童に合ったパソコン活用をめざして（調べ型）

マルチメディア教材を活用し、
虫の飼い方などを調べる。

中学年

３年生　国語「すがたをかえる大豆」

パソコン活用の基本を身に付け、教科の学習に生かす（提示型）

プロジェクターで教材を投影しながら
学習を行う。

高学年

５年生　総合的な学習「レシピ作り」

パソコンに親しみ、工夫した効果的な表現方法を身に付けよう（発表型）

スクリーンや掲示板を使用して
情報発信を行う。

専科

６年生　図工「ピクトグラムをつくろう」

見つける・まとめる・伝えるＩＣＴ

パソコンの描画機能を使い、
ピクトグラム作成し、発表する。

教員研修・校内整備

＝主な研修内容＝

・実技研修会

（コンピータルームの機器の取り扱いについて）

・講演会「今なぜICTなのか」

大東文化大学准教授

～苅宿俊文先生～

・情報モラル研修

・e―ラーニングでの研修

（情報教育の教授法）　など

＝主な校内整備内容＝

・セキュリティーポリシー手順書の作成

・校内LANの整備

・配信コンテンツ「Edumall」導入

など

本年度の研究の成果と課題

成果

児童の変容

・学習への興味・関心の高まり
・情報活用能力の向上

課題

授業の改善

・ＩＣＴを活用した授業力の向上
・情報モラル教育の実施

芝久保小学校　コンピュータ　リテラシー学年別指導内容

	コンピュータ　リテラシー	備考
1年生	・パソコン室の使い方と約束を知る。 ・コンピュータの起動、終了ができる。 ・コンピュータの各部の名称が言える。 ・基本的なソフト（キューブキッズなど）の立ち上げ、終了ができる。 ・マウスを動かし、クリックができる。 ・お絵かきソフトを使い、マウスで自分の描きたいものが描ける。 ・作品を印刷することができる。	
2年生	・画面を拡大したり、縮小したりすることができる。 ・用紙の大きさを考えて作品を作ることができる。 ・文字パレットを使って、マウス操作で文字入力ができる。 ・ファイルの保存と呼び出しができる @インターネットに接続できる。	事前に教師が用意したサイトに接続させる
3年生	・日本語システムを起動できる。 ・かなで入力し、カタカナや漢字を変換することができる。 ・文字の色や大きさを変えることができる。 ・配置を考えて、絵や文字を打つことができる。 ・コピーや削除ができる。 ・デジカメを使うことができる。 ・FDやCDの扱い方を知る。 ・FDやCDを開き、閉じることができる。 @簡単なインターネット（ヤフーキッズなど）の操作ができる。	
4年生	・ローマ字のキー配列を覚える。 ・ローマ字で文字を打つことができる。 ・ローマ字入力した文字をカタカナや漢字に変換できる。 @インターネットを利用し、資料を集めることができる。	各検索サイト
5年生	・キーボード練習用ソフトを使って、ローマ字入力で文字を打つことに慣れる。 ・デジカメで撮った画像を取り込むことができる。 ・簡単なプレゼンテーションを体験する。 @掲示板の送受信、保存の整理ができる。 @インターネットで集めた情報を利用できる。	キーボード練習ソフト
6年生	・ホームページを作成することができる。 ・工夫したプレゼーテーションができる。 ・自分のフォルダーを年度末に整理することができる。 @掲示板に画像や文書ファイルを添付できる。 @インターネットで集めたデータを編集できる。	各検索サイト

研究を終えて

研究を終えて

「ＩＣＴを活用した楽しい学習活動」の研究１年目が終了しました。

６年生が表計算ソフトで図形を描き、２年生が生きもの調べでインターネットを活用しました。５年生はレシピ作りにデジタルカメラを取り入れてキューブキッズソフトを活用しました。子ども達はこれらの学習に興味・関心を示し、工夫を凝らして学習に取り組み積極性を発揮しました。また、３年生の授業では教員が画像を提示したり黒板代わりに使ったりしました。教員も課題意識をもち主体的に研究に参加して自身の資質向上に役立てることができました。

本年度、ご支援ご指導をいただきました西東京市教育委員会と、研究会講師としてご指導いただきました中野区立中野本郷小学校長　小谷津　亨先生、大東文化大学准教授・ＮＰＯ学習環境デザイン工房　苅宿俊文先生には心よりお礼を申し上げます。

副校長　仙臺耕一